萬衛門の花図鑑

ボタン

ボタンは、ボタン科ボタン属の落葉低木です。
晩春に大きな花が咲きます。

原産地は中国で、2世紀ごろから栽培され、「花王」と呼ばれてきました。現在でも中国の国花になっています。

日本には奈良時代に輸入されました。
『枕草子』に挿絵が描かれていますので、平安時代には観賞用の花となっていたようです。

中国でも日本でも高貴な花として愛され、多くの詩歌、俳句で詠われてきました。

日本で現在栽培されている品種の多くは、明治以降に作出されたものです。

萬衛門の花図鑑　ボタン

編著者：茶屋萬衛門
住所：〒585-0053
大阪府南河内郡千早赤阪村小吹68-115
https://it-conts.com/